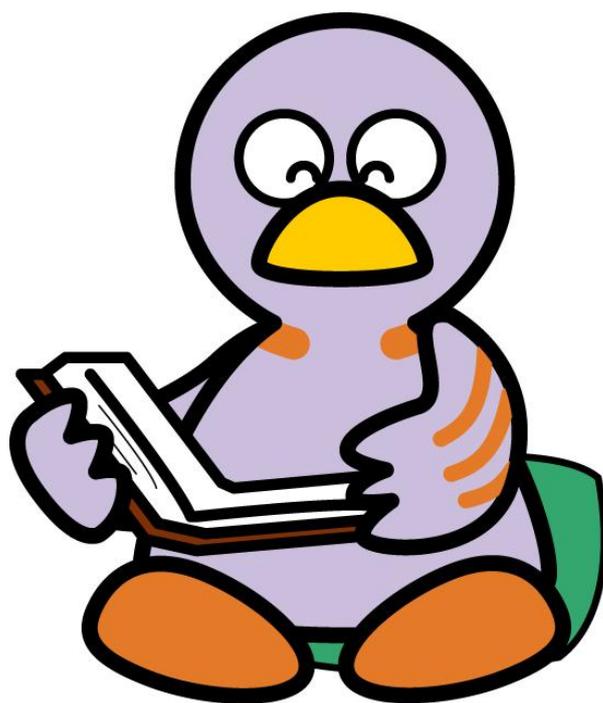


# 特別支援学級支援籍

(小中学校の通常の学級から特別支援学級へ)



埼玉県のマスコット「コバトン」

# 特別支援学級支援籍 1（他校で支援籍学習をした事例）

## 【小学校（通常の学級）から特別支援学級へ】

### Aさんの自己紹介



- ・ 小学校4年に在籍しています。
- ・ 日常生活では、特別なサポートは必要ありません。
- ・ 自分の気持ちは、言葉で伝えます。
- ・ 大きな集団の中で自分の力を発揮することは、あまり得意ではありません。

### 【Aさんの支援籍】

<開始年度>；[小学校]平成22年度～（1年目）

<支援籍校>；小学校（自閉症・情緒障害特別支援学級）

<支援籍学習のねらい>

- （1）落ち着いて学習や活動に取り組めるようになること
- （2）国語や算数などの基礎学力の向上を図ること

### 【Aさんの支援籍学習の計画（主な流れ）】

[実施に向けて]

4月	保護者からの希望提出 小学校担任等と面談 学校関係者、市教委関係者で相談 特別支援学級の弾力的運用で実施
9月	特別支援学級支援籍として実施

[実施]

回数；毎週2回（毎週火、木曜日午前）	内容；通常の授業にそのまま入る
随時	担当者間で、必要に応じて、電話、FAX等で打ち合わせ

[実施後]

年度末	関係者で反省会を兼ねた打合せを行い、次年度についての相談
-----	------------------------------

### 【支援籍を進めるに当たって】

- （送迎）保護者による送迎
- （付添）なし
- （ボランティア）なし
- （その他）在籍校担任が「教育支援プランA・B」を作成



漢字の読みの学習

【Aさんの支援籍学習（平成22年10月21日（木）の事例）】

時間	内 容	具体的な内容や児童の様子
9:30	登校	・保護者と一緒に登校しました。
9:35	2 国語  3 理科	・国語で、漢字や文章の読みに取り組みました。 ・漢字の読みでは、積極的に挙手をして学習に取り組みました。 ・漢字の読みの学習で、クラスの児童がそれぞれ先生役、児童役に役割分担をして学習しました。 ・プリントを使った学習にも意欲的に取り組みました。 ・3時間目は理科の授業に参加しました。
11:30	下校	・保護者と一緒に下校しました。

【支援籍学習を行って】

- ・特別支援学級で個に応じた学習を積み重ねたことで、学習内容が分かるようになり、積極的に挙手するなど、学習に対する意欲の向上がみられました。また、自信を持って学習に臨めるようになりました。
- ・支援籍校では、学習環境が小集団になったこともあり、以前よりも落ち着いて生活できるようになりました。
- ・在籍校では、支援籍学習を開始してから、表情が明るくなり、支援籍校から帰ってくるとニコニコと笑顔でいることが多いです。
- ・生活面でも、気持ちの面でも落ち着きが見られ、気が散ることなく、集中して学習に取り組めるようになりました。



国語のプリント学習

【支援籍学習のスムーズな実施のために】

- ・開始当初、在籍校の校長先生、支援籍校の校長先生、市教委担当者で打合せを行い、共通理解を持ちました。
- ・支援籍の開始に当たっては、在籍校の担任が関係者と協力して、「教育支援プランA・B」を作成し、保護者と共通理解を持って支援籍学習を行いました。「教育支援プランA・B」を作成することは、しっかりした支援籍の計画を立てるために大変重要です。

## 特別支援学級支援籍 2（他校で支援籍学習をした事例）

### 【小学校（通常の学級）から特別支援学級へ】

#### Bさんの自己紹介



- ・ 小学校2年に在籍しています。
- ・ 知的障害特別支援学級で支援籍学習を受けています。
- ・ 日常生活では、特別なサポートは必要ありません。
- ・ 自分の気持ちは、言葉で伝えますが、少し人見知りで、慣れるまで時間がかかります。

#### 【Bさんの支援籍】

<開始年度>；[小学校]平成22年度～（1年目）

<支援籍校>；小学校（知的障害特別支援学級）

<支援籍学習のねらい>

- （1）国語や算数などの基礎学力の向上を図ること
- （2）特別支援学級の雰囲気慣れること

#### 【Bさんの支援籍学習の計画（主な流れ）】

[実施に向けて]

随時	保護者からの希望提出 小学校担任等と面談 学校関係者、市教委関係者で相談 開始のための打ち合わせ
1月～	実施

[実施]

回数；週1回（2～3時間）

内容；特別支援学級にそのまま入る

随時	担当者間で、必要に応じて、電話、FAX等で打ち合わせ
----	----------------------------

[実施後]

年度末	関係者で反省会を兼ねた打合せを行い、次年度についての相談
-----	------------------------------

#### 【支援籍を進めるに当たって】

- （送迎）保護者による送迎
- （付添）保護者
- （ボラティア）なし
- （その他）正式に支援籍学習を行う前に、見学や体験を行った



折り紙でウサギを作る

【Bさんの支援籍学習（平成23年1月12日（水）の事例）】

時間	内 容	具体的な内容や児童の様子
9:40	登校	・保護者と一緒に登校しました。
9:45	2 生活  業間休み  3 個別の学習	・生活の授業では、折り紙を使ってウサギを作る学習に取り組みました。折り方が少し複雑でしたが、先生の話をよく聞いて取り組んでいました。 ・業間休みは、校庭で大縄跳びをしました。クラスの友達だけでなく、他のクラスや他の学年の児童も一緒になって遊びました。以前はうまく跳べなかったBさんですが、周りの雰囲気に乗って跳ぶことができ、とても嬉しそうでした。 ・個別の学習では、「冬休みの作文」を書きました。冬休みのことを思い出しながら、絵と作文を書きましたが、丁寧に書けていました。
11:40	下校	・保護者と一緒に下校しました。

【支援籍学習を行って】

- ・支援籍学習で、個別の学習する機会を持ったことで、国語や算数の基礎的な学習の積み重ねができて、学力の向上が図られました。そのため、学習に対して意欲的になりました。
- ・支援籍学習の中で宿題も出しましたが、積極的に取り組みました。
- ・支援籍学習を通して、学習面だけでなく、生活面でも、はりが出て、学習の中でやったことなど家でも良く話をするようになりました。また在籍校でも、生き生きとしてきました。
- ・次年度、特別支援学級への教育形態の変更を考えていますが、クラスの雰囲気慣れ、クラスの友達とも仲良くなることができました。



個別の学習（冬休みの作文）

【支援籍学習のスムーズな実施のために】

- ・他校の特別支援学級での支援籍学習のため、Bさんが環境の変化に戸惑わないように、事前に見学や体験を行ってから、支援籍学習を実施しました。
- ・教育支援プランA・Bを支援籍校と在籍校で協力して作成しました。

## 特別支援学級支援籍 3（他校で支援籍学習をした事例）

### 【中学校（通常の学級）から特別支援学級へ】

#### Cさんの自己紹介



- ・中学校1年に在籍しています。
- ・自閉症・情緒障害特別支援学級で支援籍学習を受けています。
- ・日常生活では、特別なサポートは必要ありません。
- ・自分の気持ちは、言葉で伝えますが、うまく伝わらないことがあります。

#### 【Cさんの支援籍】

- <開始年度>；[中学校]平成22年度～（1年目）
- <支援籍校>；中学校（自閉症・情緒障害特別支援学級）
- <支援籍学習のねらい>
- （1）コミュニケーション能力の向上を図ること
  - （2）基礎学力の向上を図ること
  - （3）特別支援学級の雰囲気慣れること

#### 【Cさんの支援籍学習の計画（主な流れ）】

[実施に向けて]

随時	保護者からの希望提出 中学校担任等と面談 学校関係者、市教委関係者で相談 開始のための打ち合わせ
1月～	実施

[実施]

回数；週2回（2～3時間）	
内容；特別支援学級にそのまま入る	
随時	担当者間で、必要に応じて、電話、 FAX等で打ち合わせ

[実施後]

年度末	関係者で反省会を兼ねた打合せを 行い、次年度についての相談
-----	----------------------------------

#### 【支援籍を進めるに当たって】

- （送迎）保護者による送迎  
（付添）必要に応じて保護者の付き添い  
（ホラソフィア）なし  
（その他）正式に支援籍学習を行う前  
に、見学や面談を行った



調理の準備（テーブルにごぼうを配る）

【Cさんの支援籍学習（平成23年1月19日（水）の事例）】

時間	内 容	具体的な内容や児童の様子
朝	登校	・保護者と一緒に登校しました。
午前	1 体育	・1周約400mの周回コースのランニングをしました。 ・クラスの友達と一緒に6～7周走りました。
	2 生活	・次の日の調理実習で作る豚汁で使う材料などの準備を行いました。 ・初めに絵カードを使って、材料を確認したあと、使用する数を調べました。次にその数に従って、家庭科室のテーブルに材料を配りました。Cさんも一つ一つ丁寧に取り組んでいました。
	3 数学	・量をはかる学習をしました。クラスの他の生徒と一緒にジュースの量のはかり方を学習しました。 ・電卓を使った計算にも取り組みました。
	下校	・保護者と一緒に下校しました。

【支援籍学習を行って】

- ・支援籍学習で、個に応じた学習を行うことで、基礎的な学習の積み重ねができて、学力の向上が図られました。その中で、自分の気持ちや考えを伝えることができるようになってきました。
- ・支援籍学習を通して、学習面でも生活面でも意欲的に取り組めるようになり、支援籍校で学習することを楽しみにするようになりました。
- ・支援籍校のクラスに仲良しの友達ができました。
- ・次年度、特別支援学級への教育形態の変更を考えていますが、クラスの雰囲気慣れ、一人で支援籍校に通うための練習も進みました。



電卓を使った計算

【支援籍学習のスムーズな実施のために】

- ・中学生ということで、事前に支援籍校のクラスの担任とCさんが面談を行い、Cさんの気持ちを確認し、Cさん自身が納得してから支援籍学習を始めました。
- ・作品を作る学習では、完成できるように計画を立てるなどの配慮をしました。

## おわりに

本県の進めてきた「支援籍」は、平成16年度の試行期から7年目を迎え、当初の目的であった全市町村での実施がほぼ達成されました。

特別支援学校に在籍している小・中学部の児童生徒が、居住地の小・中学校に籍を置いて学習をする、「通常学級支援籍」は、平成19年度には、58市町（70市町村）、306名でしたが、3年後の平成21年度には、61市町（64市町村）、388名と拡大しました。

また、小・中学校に在籍している障害のある児童生徒が、障害の状態を改善するために、特別支援学校に籍を置いて学習する、「特別支援学校支援籍」は、平成19年度には34名でしたが、平成21年度には、75名となりました。

さらに、小・中学校の通常の学級に在籍している発達障害を含めた障害のある児童生徒が、特別支援学級に籍を置いて学習する、「特別支援学級支援籍」は、平成19年度には、180名でしたが、平成21年度には259名となり、「通常学級支援籍」、「特別支援学校支援籍」、「特別支援学級支援籍」のいずれもが、拡大深化してきていることが数値からも分かります。

今回の「支援籍学習実践事例集」では、前述の3つの支援籍を、障害種別や小・中の学校別に事例として取り上げております。また、先進的な取り組みとして、「通常学級支援籍」で入学式に参加する事例、間接交流を主とした取組の事例も取り上げております。さらに、支援籍学習に関わってきた保護者の方々の言葉も数多く掲載しております。

これからの支援籍学習の更なる進展、推進のために参考としていただけたら幸いです。

今回の事例集の作成に当たりましては、支援籍学習を行った児童生徒、保護者の方々、市町村立小・中学校、市町村教育委員会、県立特別支援学校の関係者の皆様の御協力に深く感謝申し上げます。

平成23年3月

埼玉県教育局県立学校部特別支援教育課



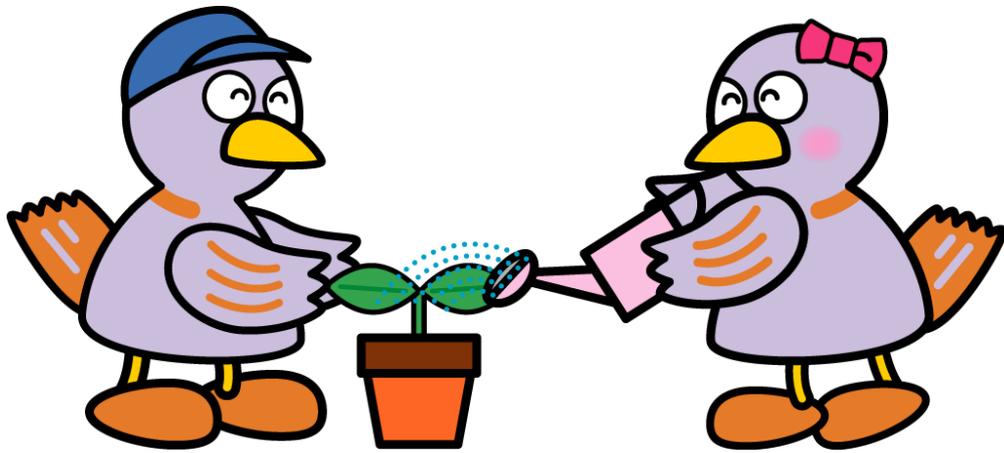


基本理念

きずな

# 生きる力を育て絆を深める埼玉教育

埼玉県教育振興基本計画を策定しました。



埼玉県のマスコット「コバトン」

## 支援籍学習実践事例集

平成23年3月

発行者：埼玉県教育委員会

編集：教育局県立学校部特別支援教育課

本書は、当課ホームページよりダウンロードできます。

URL <http://www.pref.saitama.lg.jp/A20/BN00/hp/temp/temp.html>